



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場会社名 積水化成品工業株式会社  
 コード番号 4228 URL <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 恵造  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 藤原 敬彦  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月1日 配当支払開始予定日 平成23年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券会社アナリスト、機関投資家ファンドマネージャー向け)

上場取引所 東大

TEL 06-6365-3022

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	50,257	0.4	1,135	△54.9	953	△58.4	214	△80.7
23年3月期第2四半期	50,071	1.0	2,519	30.3	2,289	32.9	1,111	3.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 601百万円 (△49.3%) 23年3月期第2四半期 1,184百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.28	—
23年3月期第2四半期	11.82	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	100,450	48,284	47.2
23年3月期	99,263	48,165	47.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 47,373百万円 23年3月期 47,263百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,400	6.9	4,800	△1.6	4,500	△2.8	2,300	△0.3	24.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	95,976,218 株	23年3月期	95,976,218 株
24年3月期2Q	1,978,425 株	23年3月期	1,977,259 株
24年3月期2Q	93,998,405 株	23年3月期2Q	94,004,302 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表時現在のデータにより、経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。上記の予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日）の日本経済は、東日本大震災の影響による景気低迷から持ち直しつつあるものの、世界経済の変調や円高の長期化など先行き不透明な状況が続きました。発泡プラスチック業界におきましては、分野によって震災復興需要があったものの、顧客の生産停止などによる需要の停滞に加え、原材料価格の高騰が続き、厳しい収益環境となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは3ヵ年中期経営計画「ENS2000」（平成22年度～平成24年度）において、工業分野を中心としたグローバル展開を基軸としての新たなる成長を目指してスタートし、その2年目を迎えました。当第2四半期連結累計期間は、主として前年同期に好調であった工業分野において顧客の生産停止の影響により売上が不振であったことに加え、原材料価格上昇に対する末端製品価格改定が遅れたことなどから、売上高は502億5千7百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は11億3千5百万円（前年同期比54.9%減）、経常利益は9億5千3百万円（前年同期比58.4%減）、四半期純利益は2億1千4百万円（前年同期比80.7%減）となりました。

#### <生活分野>

生活分野の売上高は337億1千2百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益は10億5千5百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

「エスレンビーズ」（発泡性ポリスチレンビーズ）は、農水産資材関連では需要低調となったものの、仮設住宅向け断熱材の特需等により売上高は前年同期を上回りました。食品容器・流通資材関連では、「エスレンシート」（発泡ポリスチレンシート）は、食品トレー・カップめん容器向けの需要好調により売上高は前年同期を上回りました。土木資材関連では、「EPS土工法」などが公共工事の遅延により売上高は前年同期を下回りました。

#### <工業分野>

工業分野の売上高は165億4千4百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は7億1千7百万円（前年同期比57.5%減）となりました。

自動車部材・産業包装材関連では、「ピオセラン」（ポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体）が、主に第1四半期においてサプライチェーンの寸断による国内顧客の生産停止の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。「ライトロン」（無架橋発泡ポリエチレンシート）は、デジタル家電部材向け表面保護材に採用が拡大し、売上高は前年同期を上回りました。また、床暖房、浴槽断熱などの高機能発泡部材も売上高は前年同期を上回りました。電子部品材料関連では、「テクポリマー」（有機微粒子ポリマー）は、液晶テレビパネルなど光拡散用途での海外顧客向け需要回復が鈍く売上高は前年同期を下回りました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,004億5千万円（前連結会計年度末比11億8千7百万円増）となりました。資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少などにより6億5千3百万円減少し、固定資産は有形固定資産の増加などにより18億4千万円増加しました。一方、負債の部では、支払手形及び買掛金の増加などにより流動負債が11億6千2百万円増加し、長期借入金の減少などにより固定負債が9千3百万円減少しました。純資産は、482億8千4百万円となり、1億1千8百万円増加しました。自己資本比率は47.2%となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の減少などにより、前年同期に比べ13億6千1百万円収入が減少し、17億9千8百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、前年同期に比べ1億1千2百万円支出が減少し、21億7千8百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ8百万円支出が減少し、6億5千5百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ10億5千4百万円減少（前年同期比5億1千万円減少）し、61億1千8百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月26日公表の業績予想から変更はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,176	6,136
受取手形及び売掛金	29,436	29,111
商品及び製品	5,854	6,287
仕掛品	194	133
原材料及び貯蔵品	1,948	2,186
その他	1,663	1,743
貸倒引当金	△105	△84
流動資産合計	46,167	45,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,801	13,732
機械装置及び運搬具（純額）	8,250	8,249
土地	17,722	17,799
その他（純額）	2,270	3,652
有形固定資産合計	42,044	43,434
無形固定資産		
のれん	25	19
その他	499	490
無形固定資産合計	524	510
投資その他の資産		
その他	10,731	11,195
貸倒引当金	△204	△204
投資その他の資産合計	10,526	10,991
固定資産合計	53,095	54,936
資産合計	99,263	100,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,140	16,916
短期借入金	8,195	8,590
未払法人税等	919	271
賞与引当金	1,135	982
役員賞与引当金	50	23
災害損失引当金	135	1
製品補償引当金	132	116
その他	8,873	9,842
流動負債合計	35,582	36,744
固定負債		
長期借入金	8,980	8,500
退職給付引当金	1,779	1,840
その他	4,755	5,080
固定負債合計	15,514	15,421
負債合計	51,097	52,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	17,261	17,261
利益剰余金	11,900	11,645
自己株式	△653	△653
株主資本合計	45,042	44,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,097	2,356
土地再評価差額金	942	942
為替換算調整勘定	△819	△711
その他の包括利益累計額合計	2,220	2,587
少数株主持分	902	910
純資産合計	48,165	48,284
負債純資産合計	99,263	100,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	50,071	50,257
売上原価	37,986	39,443
売上総利益	12,084	10,813
販売費及び一般管理費	9,565	9,678
営業利益	2,519	1,135
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	84	97
持分法による投資利益	8	1
生命保険配当金	100	—
その他	51	59
営業外収益合計	249	160
営業外費用		
支払利息	96	81
為替差損	84	114
その他	298	146
営業外費用合計	479	342
経常利益	2,289	953
特別利益		
退職給付引当金戻入額	—	25
災害損失引当金戻入額	—	22
貸倒引当金戻入額	27	10
負ののれん発生益	1	—
特別利益合計	28	58
特別損失		
支払補償費	—	198
投資有価証券評価損	18	91
事業整理損	—	76
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	47	—
その他	3	12
特別損失合計	69	378
税金等調整前四半期純利益	2,248	632
法人税等	1,109	392
少数株主損益調整前四半期純利益	1,138	240
少数株主利益	27	26
四半期純利益	1,111	214

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,138	240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	324	259
為替換算調整勘定	△278	101
その他の包括利益合計	45	360
四半期包括利益	1,184	601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,160	580
少数株主に係る四半期包括利益	23	20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,248	632
減価償却費	1,784	1,783
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11	△23
受取利息及び受取配当金	△88	△99
支払利息	96	81
持分法による投資損益(△は益)	△8	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39	61
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△26
賞与引当金の増減額(△は減少)	42	△153
投資有価証券評価損益(△は益)	18	91
製品補償引当金の増減額(△は減少)	—	△16
売上債権の増減額(△は増加)	1,143	485
たな卸資産の増減額(△は増加)	△247	△599
仕入債務の増減額(△は減少)	△72	796
未払消費税等の増減額(△は減少)	△226	5
保険配当金	△100	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	47	—
その他	△578	△473
小計	4,087	2,543
利息及び配当金の受取額	87	100
利息の支払額	△85	△74
保険金の受取額	3	4
法人税等の支払額	△933	△776
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,159	1,798
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△14
有形固定資産の取得による支出	△2,343	△2,135
有形固定資産の売却による収入	2	7
投資有価証券の取得による支出	△21	△2
投資有価証券の売却による収入	13	5
貸付けによる支出	△10	△41
貸付金の回収による収入	12	16
その他	55	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,291	△2,178
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	46	5
長期借入金の返済による支出	△80	△80
少数株主からの払込みによる収入	—	2
自己株式の取得による支出	△1	—
配当金の支払額	△558	△469
少数株主への配当金の支払額	△7	△14
その他	△63	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△663	△655
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	△18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150	△1,054
現金及び現金同等物の期首残高	6,307	7,172
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	170	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,628	6,118

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,659	16,411	50,071	—	50,071
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,258	464	1,722	△1,722	—
計	34,918	16,876	51,794	△1,722	50,071
セグメント利益	1,401	1,687	3,089	△799	2,289

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△799百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△797百万円、固定資産未実現利益1百万円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセララン、ライトロン、ネオマイクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,712	16,544	50,257	—	50,257
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,494	1,089	3,584	△3,584	—
計	36,207	17,633	53,841	△3,584	50,257
セグメント利益	1,055	717	1,773	△819	953

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△819百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△820百万円、固定資産未実現利益1百万円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセララン、ライトロン、ネオマイクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。